

各位

上場会社名 コマツ
 代表者 代表取締役社長 野路 國夫
 (コード番号 6301)
 問合せ先責任者 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 浦野 邦子
 (TEL 03-5561-2616)

連結ならびに個別業績予想の修正に関するお知らせ

本年4月26日に公表いたしました2013年3月期第2四半期累計期間(2012年4月1日～2012年9月30日)の連結業績予想および2013年3月期(2012年4月1日～2013年3月31日)の連結ならびに個別業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2013年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2012年4月1日～2012年9月30日)

	売上高	営業利益	税引前四半期純利益	当社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,010,000	142,000	138,000	84,000	88.21
今回修正予想(B)	940,000	111,000	105,000	64,000	67.20
増減額(B-A)	△70,000	△31,000	△33,000	△20,000	
増減率(%)	△6.9	△21.8	△23.9	△23.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2012年3月期第2四半期)	985,867	132,949	130,243	94,675	97.82

2013年3月期通期連結業績予想数値の修正(2012年4月1日～2013年3月31日)

	売上高	営業利益	税引前当期純利益	当社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,100,000	315,000	308,000	190,000	199.53
今回修正予想(B)	1,970,000	262,000	252,000	157,000	164.86
増減額(B-A)	△130,000	△53,000	△56,000	△33,000	
増減率(%)	△6.2	△16.8	△18.2	△17.4	
(ご参考)前期実績 (2012年3月期)	1,981,763	256,343	249,609	167,041	173.47

2013年3月期通期個別業績予想数値の修正(2012年4月1日～2013年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	930,000	90,000	120,000	89,000	93.41
今回修正予想(B)	810,000	54,000	84,000	65,000	68.22
増減額(B-A)	△120,000	△36,000	△36,000	△24,000	
増減率(%)	△12.9	△40.0	△30.0	△27.0	
(ご参考)前期実績 (2012年3月期)	851,139	55,338	88,079	92,593	96.10

修正の理由

【連結業績予想】

建設機械・車両部門においては、中国市場の需要回復の見通しが当初予想より遅れている状況であることに加え、燃料炭価格の下落等の影響を受け、インドネシア市場の鉱山機械需要が足元で弱含んでいる状況等、需要の下振れリスクを織り込みました。また、産業機械他部門においては、太陽電池市場向けのシリコンインゴットの切断に使用されるワイヤーソー市場が当初予想より厳しい状況にあります。これらの状況に為替の円高傾向の影響も織り込み、本年4月26日に公表しました2013年3月期第2四半期(累計)連結業績予想(2012年4月1日～2012年9月30日)および2013年3月期通期連結業績予想(2012年4月1日～2013年3月31日)につき、売上高および利益を修正いたします。

本業績予想の前提となる第2、第3および第4四半期の為替レートは、1米ドル=79円、1ユーロ=97円、1人民元=12.5円と変更いたします。通期平均では、1米ドル=79円、1ユーロ=99円、1人民元=12.6円となります。(前回見直し1米ドル=80円、1ユーロ=105円、1人民元=12.8円)

【個別業績予想】

連結業績予想の修正と同様に、建設機械・車両部門における中国の需要回復遅れおよびインドネシアの需要下振れリスクならびに為替の円高傾向の影響を織り込み、本年4月26日に公表しました2013年3月期通期個別業績予想(2012年4月1日～2013年3月31日)につき、売上高および利益を修正いたします。

(注記)

前述の将来の業績に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをご承知下さい。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

以上